

特集2

県立病院の家計簿！

「平成 22 年度病院会計」を「平均的な給料の県職員家庭の家計簿」に置き換えると？

県職員(行政職)の平均年間給与 625 万円を
参考に作成したよ



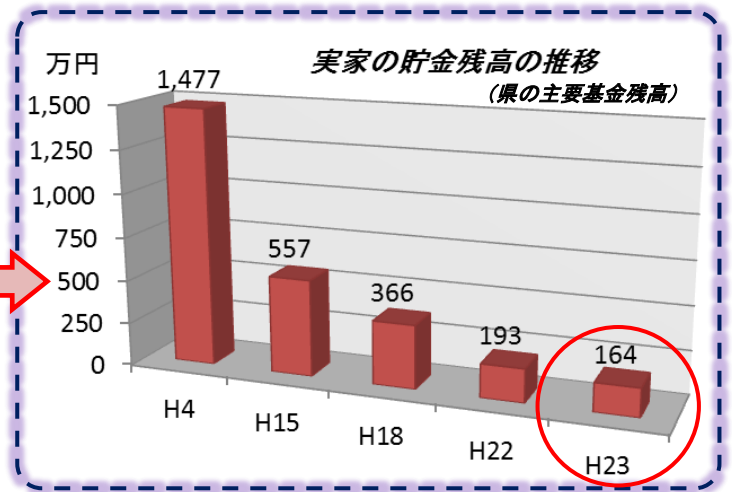
あかべえ



みんなべえ

これから僕たちが説明するよ
よろしくね

- 年収 600 万円の家庭が 1,200 万円の生活をしている状態だよ。
- 実家からの援助があっても赤字なんだ。
- 実家の貯金はなくなるし、これまでのような援助は期待できないよ。
- 家計のバランスをとるため、収入アップ等について、みんなで考えていこう！



収入 (625 万円)	支出 (1,215 万円)
給料 625 万円 (= 入院収益、外来収益)	食費 719 万円 (59%) 医療費 等 (= 職員の給与費)
実家からの援助 453 万円 (= 一般会計からの繰入金)	生活用品費 150 万円 (12%) (= 材料費)
ローンの再借入 137 万円	光熱水費 192 万円 (16%) (= 経費)
	ローン返済 154 万円 (13%) (= 減価償却費等)

赤字



どうやって収入をアップさせていく？

「こうすればいいんだ」という例をあげてみたよ



【病院での実践例】



接遇・意識改革

- 職員一人ひとりがサービス業の原点に帰る。
 - ⇒ 誰もがほほえみ、患者さんの心を和ませる、ほっとする病院づくり
 - ⇒ あいさつや気配りを絶やすことなく、真心を持って接する
 - ⇒ 相手の立場にどれだけ立てるかを意識して接する
 - ⇒ マグネットホスピタル（患者を引きつけたら離さない病院）を目指す
 - ⇒ 問題・悩みの答えは常に現場にあることを心がける
- 職員一人ひとりが病院経営を理解し、業務改善を実践する。
 - ⇒ 経営情報を定期的に分析し、収支改善につなげる
 - ⇒ 接遇や業務改善の表彰制度により、職員のモチベーションを高める など

収入アップ

- 収益を確保するための具体策について、自ら検討し、できることから取り組む。
 - ⇒ 人工透析や救急患者の積極的受入
 - ⇒ 積極的なベッドコントロール
 - ⇒ 出前講座や市民公開講座の継続強化
 - ⇒ 診療報酬改定に伴う態勢づくり（チーム医療・人員配置） など

地域連携・病院間交流

- 地域連携の取組について強化を図る。
 - ⇒ 訪問診療、訪問看護への積極的取組
 - ⇒ 地元医師会、診療所等との交流
- 他の県立病院・民間病院との情報交換を図る。
 - ⇒ 身近に取り組んでいる診療・看護ノウハウの情報交換 など



これはあくまで一例だよ。これ以外にもたくさんあるはず！



一人ひとりが何をできるかを考えて、できることから取り組むことが必要だよ！

発行 病院局病院経営改革課

〒 960-8043 福島県福島市中町 8 番 2 号（自治会館 4 階）

TEL : 024-521-7228 FAX : 024-521-7924

e-mail : kenritsubyouin@pref.fukushima.jp



高地 病院事業管理者